

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第7回和文会誌分科会 開催日：10月17日。出席者：坂尾主査，ほか 24 名。

1. 19件の論文審査報告がなされ，掲載決定 9 件，照会后掲載可 7 件，その他 3 件であった。
2. 「鉄と鋼」第72年第2号（2月号）に論文 6 件，技術報告 5 件掲載決定した。この他に，チタン小特集として，チタン関係の論文，技術報告等を掲載する。

第7回欧文会誌分科会 開催日：10月11日。出席者：加藤主査，ほか 18 名。

1. 22件の原稿につき審査報告がなされ，照会后掲載可 1 件，修正依頼 20 件，返却 1 件であった。また，2 件の New Technology につき審査報告がなされ，掲載可 1 件，照会后掲載可 1 件であった。

第4回講演大会分科会 開催日：9月20日。出席者：川上幹事，ほか 26 名。

1. 第110回講演大会（於新潟大学）の準備状況ならびに大会関係行事等について事務局より報告があった。
2. 講演大会で優秀な講演発表者に対して賞を設けてはどうかという提案が事務局よりあり，討議された。
3. 委員の委嘱・解嘱の紹介があった。

第5回講演大会分科会 開催日：10月18日。出席者：鈴木主査，ほか 19 名。

1. 第110回講演大会（於新潟大学）が無事終了した

との事務局の報告と大会に関する種々の感想が委員よりあった。

2. 前回協議保留となっていた優秀講演発表賞（仮称）について再討議された。

共同研究会

第67回製鉄部会 開催日：10月16～18日。開催地：住金・小倉。出席者：飯塚部会長，ほか 135 名。

講演 I 「高炉内の Si 移行について」

東北大学 選鉱製錬研究所教授 大谷正康

II 「ツバロン製鉄所の建設と操業」

川鉄 水島製鉄所 製鉄部長 秋月英美

共通議題 「焼結工場の経済操業について」

20 件の発表があった。

自由議題 各社から 9 件の発表があった。

第10回熱延プロセス冶金研究委員会

開催日：9月19日。出席者：田村委員長，ほか 16 名。

日新製鋼(株)の星野委員より「フェライト系ステンレス鋼の熱間圧延後の回復および再結晶」 Sheffield 大学の Prof. Sellars より “Precipitation of Nb (C, N) in HSLA steels during controlled rolling” の話題提供があった。

新刊案内

「鉄鋼の海洋環境破面写真集 (Vo. 1)」

鉄鋼基礎共同研究会鉄鋼の環境強度部会編

鉄鋼基礎共同研究会「鉄鋼の環境強度部会」では官界，産業界，学界の緊密な協力関係の下に海洋環境下の鉄鋼の腐食疲労 SCC の共同研究を 1982 年より 5 カ年計画で開始した。当部会の活動の中心は機械，構造用鉄鋼 7 鋼種の人工海水中共通試験にあり，一研究機関一会社では実行不可能な系統的な腐食疲労・SCC 試験の実施を通じて諸分野の専門家による結果の解釈と破壊機構の解明データ集約と現行の強度設計基準の吟味問題点の抽出などを行いつつある。

本写真集は上記人工海水中共通試験による破面写真を収集したもので鮮明な大型写真，低倍率と高倍率写真の対応，破面のみならず腐食損傷部表面・断面写真，ステレオ写真の収集に重点が置かれている。なお，当部会活動が完了する 1987 年には引続いて溶接材を対象とした Vol. 2 の出版が予定されている。部会活動の成果の一つとして本写真集を出版するもので整備中の共通試験データベースの一環をなすものである。供試の 7 鋼種は

50キロ級高張力鋼焼ならし材，50キロ級高張力鋼制御圧延材，60キロ級高張力鋼，80キロ級高張力鋼，低合金高強度鋼，2相ステンレス鋼，2相ステンレス鍛鋼であり，いずれも鉄鋼各社より提供をうけたものである。

(A 4 判 404 頁 上製本，ステレオ写真観察のための立体眼鏡付)

定価 会員 16,000 円 (送料別) 非会員 21,000 円 (送料別)

申込方法・問い合わせ先 次のいずれかの方法でご送金願います。

- 現金書留・郵便振替 (東京 7-193 番)・銀行振込 (第一勧業銀行・東京中央支店(普) No. 1167361)

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4

経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会庶務課 水野 電話 (03) 279-6021